

今週（8月16日から8月20日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、新積み期入りしたことで、無担保コールO/Nレートは低下して始まった。週初は邦銀勢を中心に▲0.045～▲0.025%の出会いが中心となった。週半ばになると、レポレートの低下に伴って一部でビッド水準を引き下げる動きもみられたが、影響は限定的であった。加重平均レートは週を通して概ね0.03%台後半での推移となった。ターム物は、新積み期に入ったことで、月内物を中心に引き合いが見られ、▲0.04～▲0.03%付近での出会いが散見された。日銀当座預金は530兆円台後半での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、概ね▲0.155～▲0.090%程度で出会いが見られた。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、良好な需給環境のもと、全ての期間で堅調に推移した。

17日に行われた短国買入オペは、需給改善が意識される中、オファー額は1,000億円にとどまった。前回のオファー額から減額されたものの、無難な結果となった。

19日に実施された1Y物の入札は、前回入札時からレートは低下したものの、概ね事前予想通りの無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

20日に実施された3M物の入札は、しっかりとした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅い展開となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、一部の業態で大型発行が見られたものの、先週に引き続き夏季休暇中の発行体が多かったからか、1日あたりの入札案件は乏しく、大口の償還がロールされなかったこともあって、償還超のマーケットとなった。市場残高は概ね先週と横ばいの25兆円台前半から半ばで推移している。発行レートについては、新型コロナ金融支援オペの担保確保の買いニーズからか、対象となる銘柄についてはその大半がマイナス圏で推移している。特に発行頻度が低い稀少銘柄や期越え銘柄に関しては、強いマイナスの買いも見られた。その一方で、9月末までの期内物の銘柄については、レートが上昇する展開も散見された。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/16 (月)	27,523.19	0.010	109.49	△ 0.036	△ 0.100	5,377,800
8/17 (火)	27,424.47	0.005	109.30	△ 0.037	△ 0.120	5,380,000
8/18 (水)	27,585.91	0.010	109.57	△ 0.037	△ 0.144	5,382,800
8/19 (木)	27,281.17	0.010	109.98	△ 0.038	△ 0.126	5,397,500
8/20 (金)	27,013.25	0.005	109.86	△ 0.038	△ 0.095	5,374,100

来週（8月23日から8月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/23 (月)					7月の米中古住宅販売
8/24 (火)		TB6M 34,000億円 8/25発行	5Y 25,000億円 8/25発行	交付税借入 10,500億円 9/2借入	7月の米新築一戸建て販売件数
8/25 (水)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				7月の米耐久財新規受注
8/26 (木)	月例経済報告 (内閣府) 7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	20Y 12,000億円 8/27発行			4-6月期の米GDP改定値
8/27 (金)	8月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 50,000億円 8/30発行	交付税借入 10,500億円 9/7借入		7月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オベ合計	実質過不足	需給要因
8/23 (月)	300	12,000	12,300	CP買入	▲200		▲200	12,100	TB3M発行▲50000償還63000
8/24 (火)	0	2,000	2,000	社債買入		800	800	2,800	
8/25 (水)	0	▲25,000	▲25,000				0	▲25,000	TB6M発行▲34000償還22700 5Y発行▲25000 国有林野借入▲1000期日1000
8/26 (木)	▲1,000	0	▲1,000				0	▲1,000	
8/27 (金)	▲1,000	▲23,000	▲24,000	新型コロナ支援	▲178,800		▲178,800	▲202,800	20Y発行▲12000
週間合計	▲1,700	▲34,000	▲35,700	—	▲179,000	800	▲178,200	▲213,900	

8/23は日銀予想、8/24以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、地合いに特段の変化は無く、引き続き国内勢の調達を中心に▲0.05～0.02%中心の出会いが予想される。レポ市場は、レートが一旦落ち着いている中、資金ニーズに変化が出るか注目される。短国市場は、24日に6M物、27日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、23日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は、8月26日にCP等買入オペが5,000億円で実施予定となっている。現在新型コロナ金融支援オペの担保需要は高く、売却ニーズが限定されているためか、直近のオペレートは平均・按分ともに低下傾向にあり、按分レートがどの程度で決着するのか注目される。

主要なイベントは、海外では26日に4-6月期の米GDP改定値が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。